

【兵庫津ミュージアム】のサウンディング調査実施結果

1 参加事業者数 6者

2 サウンディング調査結果の概要

サウンディング調査において、参加事業者からいただいたご意見等の概要は以下のとおりです。

指定管理期間について

①現行の3年は短い。人材育成等のため、5年以上が望ましい。

②展覧会の準備期間を考えると5年程度必要。

③人材育成・地域連携を図っていくには、5年が妥当。

④5年が妥当。5年を超えると人件費・光熱水費の変化を見極めるのが困難。5年の場合でも、人件費・物価の上昇を考慮した指定管理料の設定を希望する。

⑤5年は欲しい。それより期間が短いと提案書の内容を履行できない恐れがある。

観覧料金の金額について

①企画内容によって柔軟に料金設定できるようにしてほしい。中途半端な価格設定は、訪問対象から外されてしまう恐れがある。

②企画内容や事業経費によりその都度変更できるようにすべき。常設展も含め、柔軟な料金設定ができる形が望ましい。

③観覧料金を踏まえた展覧会の内容とするため、現状の金額で特段問題ない。

④料金設定に柔軟性があった方がよい。ただ、頻繁に金額が変わっては、一般の方にわかりづらいので、ベースの金額を設定し、企画内容にオプションをつけた場合に、料金を上げる対応が最もよいと考える。

⑤現状の企画展料金（800円）は、展示面積に対して高い。500円もしくは600円が妥当。

指定管理料の妥当性について

①コロナ禍でオープンしていること、また2館体制の通年の実績が令和5年末に判明するため、現時点では金額の妥当性は判断しづらい。

②光熱費の上昇が続いているため、精算払いにしてもらえると積算しやすい。

③来年度の公募時点では、通年の実績が令和5年度の1年分のみで、正確な積算が難しい。

④前回公募時は新規施設のため観覧料収入の見込みが立てづらかった。人件費・光熱費・コンプライアンスに係る経費が年々増加していることに懸念を感じている。光熱費は精算払いを希望する。

前回の募集要項で障壁と感じている部分

①光熱水費の上昇が続いているため、精算払いを希望する。

②指定管理者に求める要求水準について、もう少し詳細に募集要項・仕様書に明記して欲しい。指定管理料を正確に積算する上で必要である。

③初代県庁館のカフェについて、立地条件から入っていただける事業者を探すのは難しいと感じている。

初代県庁館のカフェについて

①展覧会会場であるひょうごはじまり館から離れているため集客が難しい。

②立地条件等を考慮すると、現事業者が撤退した場合、新しい業者を探すのは難しい。

その他

①展覧会の準備期間は最低1年必要である。指定管理開始日の1年前に次期指定管理者を決定できないのであれば、現指定管理者もしくは所管課が前年度中に事業計画・準備をしてもらい、初年度はそれを引き継ぐ形が望ましいと考える。

②所管課として、次期指定管理者にこういった運営を求めているのか募集要項や仕様書に明示して欲しい。

③来館者が使える駐車場がない。安定した施設運営のために駐車場は必要である。

担当者：企画部地域振興課 八木

TEL：078-362-4004

メール：chiikishinkou@pref.hyogo.lg.jp